

フレームマイスター「ファームウェア Ver2.04」アップデート内容

●4K映像対応テレビまたはディスプレイ、及び4K液晶パネルを搭載していないが4K映像を受信可能なディスプレイで、音声が出力されない、及び画面がピンク色になってしまう問題を改善しました。

※東芝社のテレビのようにHDMI入力に「高速モード」、「標準モード」、「互換性重視モード」などの設定機能が有る場合は、これらの設定を正しく設定しないと音声が出力されない場合があります。

●スキャンラインに、表現の種類を選択できる「SCANLINE_FILTER」機能を追加しました。

「SCANLINE」の設定が「オン」で、スクリーン設定が「スマート x2」表示が表可能な場合のみ利用できます。「スマート x2」以外では強制的に「H（従来のスキャンライン）」と同等の表示となります（スクリーン設定が「標準」や「スマート x1」表示などではV/W/HV/HW/Xは適応されません）。

H：従来のスキャンライン

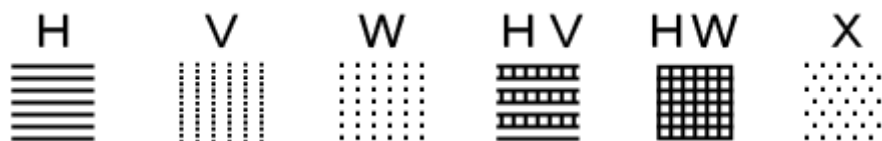
V：縦の点線

W：均等な点線

HV：変則的な格子模様

HW：正方形の格子模様（古い液晶のような表現）

X：スクリーントーンのような点線（画素の少ない液晶のような表現）



※スキャンラインを使用すると、画面に垂直方向のモワレが発生する場合があります、思うような効果が得られなかったり、汚く表示される場合があります。

画面の表現はテレビ側の仕様や、スケーリングの仕様にも依存します。また、テレビの映像処理によって表示のおもむきが異なることがあります。

※「HV」や「HW」などは「一マス」が=1ドットではありません。

※スマート x1、スマート x2 といった表示モードの違いによって、ズーム時のスキャンラインの表示が変化いたします（ズーム時のスキャンライン表示の是非については検討中です）。

将来ズーム時はスキャンラインが「オフ（切）」される可能性があります。またスキャンラインの区切りは1：1にはなりません。

※リモコンの「B」ボタンは「マイスター + スマート x2 表示」のダイレクト機能です。

※「スマート x2」からズーム表示を使用した場合画面に「H」以外の表示が有効となりますが、あまりきれいには表示されません。気になる場合は「SCANLINE」を「オフ」にしてご利用ください。

フレームマイスター「ファームウェア Ver2.04」アップデート内容

●PC-8801mk II SR 以降のアナログ RGB[640x400[24kHz]](以下 PC-8801)で表示を調整しました。

なお、「画面の上下が欠ける（画面外に出てしまう）」、または「ゴミの様な画像が表示される」、などの場合は「入力垂直位置」、「入力水平位置」を調整し、実際にご利用の際はスクリーン設定を「スマート x1」に設定してください。

640x400[24kHz]入力時に「スマート x1」が表示可能な出力解像度は

DVI 解像度（ワイドの場合）=1440x900p/1680x1050p/1920x1080p

DVI 解像度（ワイド以外の場合）=1280x960p/1280x1024p

HDMI 解像度=1920x1080p

※テレビやディスプレイがドット・バイ・ドット表示でスケーリングを行っていないこと。
となります。

※PC-8801 の入力解像度表示のステータスでは「1280x400 ドット(テキスト・モード)」または「1280x408 ドット (グラフィックス・モード)」として表示されます。

※PC-8801 には「起動時の画面モード(55.40Hz)」と、「ゲームなどのグラフィック画面(56.41Hz)」を表示した際には、微妙な画面位置などが変化することを確認しています。

※PC-8801 では「DotCLK」を調整したのち、「入力水平表示位置」や「入力垂直表示位置」の調整が必要です。

※PC-8801 の信号は、テレビやディスプレイの機種によっては映らないものがあるかもしれません。

※PC-8801 の信号は、起動時の TEXT 画面と、ゲームなどが開始された際のグラフィック画面の切り替え時など、画面モードが変化する際、画面が真っ黒になって、映像が映らなくなる場合があります。このようなときは、一旦 RGB ケーブルを取り外し、リモコンの「入力切替ボタン (RGB)」を押してみてください。その後 RGB ケーブルを再度接続してください。また、画面の調整などを行っている際に、突然映らなくなる場合がありますが同様の操作を行ってみてください。

※「AUTO_SCALER」を「オフ」に設定し、「H_SCALER」を「7」に調整することをお勧めします。

※この度のファームウェアは PC-9801 の複合同期信号は対象外です。

※PC-8801 の水平同期 24kHz のグラフィックス画面は、もともとパソコン自身が人工的なスキャンラインを挿入しているため (VRAM が 200 ライン分しかないため)、フレームマイスターでスキャンラインを使用すると、画面が暗くなるだけの効果となります。不具合と勘違いする恐れがあるため PC-8801 の 24kHz でのスキャンライン使用はお勧めしません。

●画面調整に「DOT_CLOCK_MODE」を追加しました（注1）。

「DOT_CLOCK_MODE」は、RGB入力時のドットクロックを選択できます。

入力映像のサンプリング時のドットとドットの間隔を調整します。

網目状の画像で縦帯上のモワレが発生した際の調整機能として使用できます。

「910」は、「セガ・サターン」に適しています。ただし、この設定を選択すると表示位置が左にズレてしまうため「水平入力表示位置」を調整する必要があります。

「SEL」は下記の「DOT_CLOCK」の手動調整値を使用できます。

※ドットクロックは、通常は「AT」または「858」をご利用ください。

●「DOT_CLOCK」機能を追加しました（注1）。

「DOT_CLOCK」は、ドットクロックを手動で調整する機能です。

「DOT_CLOCK_MODE」が「SEL」のときに操作・設定できます。

※PC-8801の640x400(24kHz)で、ゲームの画面（グラフィックス画面）を表示する際はドットクロックを、「846」または「848」に設定することをお勧めします（「848」がベストですが、画面の左右端1～2ドットが表示されないため、846でのご利用をおすすめします）。

※ドットクロック手動調整は、RGB入力のみご利用いただけますが、解像度ごとには調整（設定を保持）できないため、接続する機器を変更する場合は、RGBケーブルを取り外して設定を標準設定に戻す操作が必要です。

（例えばPC-8801で、ドットクロックを846などに設定したのちに、他のゲーム機[15kHz]などをそのまま接続すると画面が乱れるか映像が表示されなくなりますので、858などに戻すかATでご利用ください）

注1：「DOT_CLOCK_MODE」、「DOT_CLOCK」を変更すると、水平表示位置、水平表示幅が変化します。少なくとも水平表示位置の調整は必要です。また、ドットクロックは映像の同期信号と密接な関係があるため、調整によって映像が乱れたり映らなくなる場合があります。このような時は、一旦入力ケーブルを取り外して、入力切替ボタン「RGB」を押してメニューを表示して設定を元に戻してください。メニューが表示されない場合は、リモコンのセーフティ・ボタンを押してください。

フレームマイスター「ファームウェア Ver2.04」アップデート内容

●DVI モードの「1280x1024 ドット」、「1280x960 ドット」解像度にて 240p や 480i の「x2」表示が利用可能となりました。

ただし、水平方向の幅が広い映像では、左右端のドットや画像が欠けます。

※これまで水平 720 ドットの倍数で判定していましたが、640 ドットの倍数で判断するようにしました。480i は水平 720 ドットなので画面の左右が合計 80 ドット程度欠けることとなります。なお、欠け具合はドットクロックの設定によっても変化します。

●スキャンラインの「オフ（切）」の際の動作に食い違いがあった問題を統一しました。

リモコンの、「A」/「B」ボタンは、「画質モード[マイスター]+スマート x1」または、「画質モード[マイスター]+スマート x2」を同時に行うボタンです。

「A」/「B」ボタンを押した後は「マイスター」の表示はスキャンラインが常に「オン（入）」であるべきなので、メニュー操作やリモコンの「C」ボタンでは、スキャンラインを「オフ（切）」できなくしました。

「マイスター」以外の「画質モード」をご利用の場合は、スキャンラインを手動で「オン（入）/オフ（切）」可能です。

例：リモコンの「画質モード」の「ゲーム 1」、「ゲーム 2」ボタンなどを押してから、「C」ボタンを押せば、スキャンラインを「オフ（切）」できます。